

三千院文書 1

正中一(1325)年十一月廿五日付け。

山城三千院の別当任禪による同院門跡領寺院・本尊・聖教・坊舎並びに庄園・所領等の勘注の中に信濃国顯光寺。承鎮法親王は順徳天皇の孫。天台宗三千院門跡の尊忠について出家。正中三年天台座主。号は円融房

『信濃史料』卷五 57頁より

〔三千院文書〕三 ○山城

勘注言上

御門跡相繼寺院・本尊・聖教・山洛御坊□^(舎)敷地并散在庄園・御領寺事

○中略

諸園末寺所々御領寺

○中略

信濃国顯光寺^(水内郡)

○中略

右、寺院・本尊・聖教・山洛所と御房舎・諸園末寺庄園・散

在御領寺、依 仰勘注言上如件、

正中貳年十一月廿五日 別當法眼任禪上

(異筆)

「件寺院・本尊・聖教・山洛坊舍・庄園・所領寺、或依相繼
知行、或有由緒傳領、各相副調度文書、附屬禪定皇子沙門尊
雲如件、

(承鎮法親王)

沙門 (花押)

┌